



青少年赤十字通信

2008. 9. 9

日本赤十字社新潟県支部
新潟県青少年赤十字指導者協議会

1. 夏はトレセン!!

7月下旬から8月上旬にかけて、県内各地区でトレーニング・センター（通称：トレセン）が開催されました。各地区トレセンの様子を送っていただきましたのでお伝えします!!

上越地区 青少年赤十字上越地区指導者協議会主催



（小学生の部）

期日：平成20年8月4日(月)～6日(水)

会場：国立妙高青少年自然の家(妙高市)

◆救命処置の方法を学びました。AEDは、学校に備えてあることは分かっていますが、実際に使い方を知っている子どもたちは意外に少ないです。いざという時に友達を救うという心（気持ち）を学ぶということもトレセンならではのプログラムです。



（中学生の部）

期日：平成20年8月1日(金)

会場：三和中学校(上越市) 他

◆今年度は、参加した生徒たちが街頭に立って、募金活動をおこないました。このプログラムは、トレーニング・センターとしては県内初の取り組みで、生徒たちが様々なアイデアを出し合い、工夫（ポスター、のぼりの作成）して行動することに大きな意味があると思います。みなさんの気持ち、被災地に届きました。

中越地区 青少年赤十字中越地区指導者協議会主催



(小学校・中学校合同)

期日：平成 20 年 8 月 7 日(木)

会場：栖吉小学校、悠久山公園(長岡市)

◆まだ震災の爪痕を残した悠久山公園でのオリエンテーリングは、スタッフとして胸が詰まる思いがしました。しかし、震災を感じさせない子どもたちの笑顔とパワーに励まされ、こちらが勉強させられたトレセンでした。

佐渡地区 青少年赤十字佐渡地区指導者協議会主催



(小学生の部)

期日：平成 20 年 7 月 28 日(月)～29 日(火)

会場：こがね荘(佐渡市)

ワークショップ ～今、私たちがやらなければならないこと～

◆今年の新企画の活動です。ホームルームで一緒になったメンバーが互いの学校での実践を紹介し合い、青少年赤十字の3つの実践目標のもとに自分たちがこれから実行すべきことを話し合いました。このホームルームで話し合ったこと、気付いたことをみんなで発表し合いました。



(中学生の部)

期日：平成 20 年 7 月 30 日(水)～31 日(木)

会場：こがね荘(佐渡市)

フィールドワーク 「暗黒の国」

◆トレセン会場の近くには野球場やテニスコート、森林や神社などがあります。この恵まれた野外の環境を生かして、5つの関門を設けてフィールドワークを行いました。1日目の活動を通じて打ち解けあったホームのメンバーが、互いの肩に手をかけ、心も一つにして「暗黒の国」を走破しました。



全 県 日本赤十字社新潟県支部・新潟県青少年赤十字指導者協議会主催

(県内高校生対象)

期日：平成 20 年 8 月 5 日(火)～6日(水)

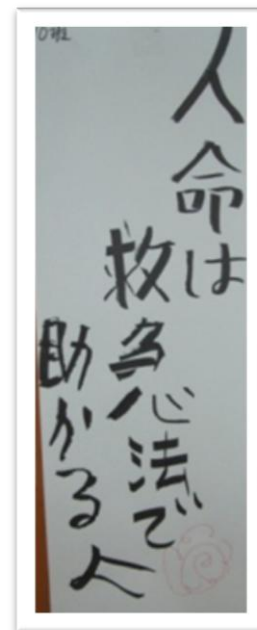
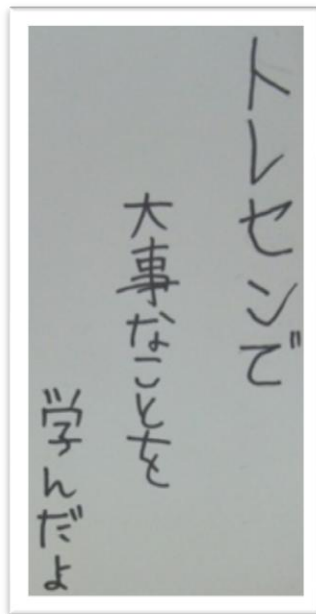
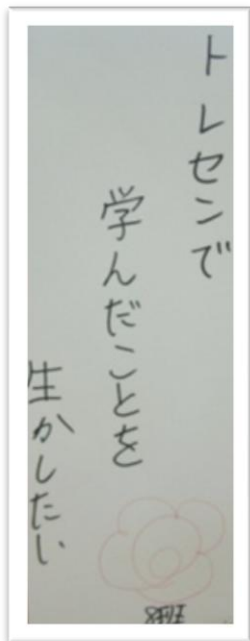
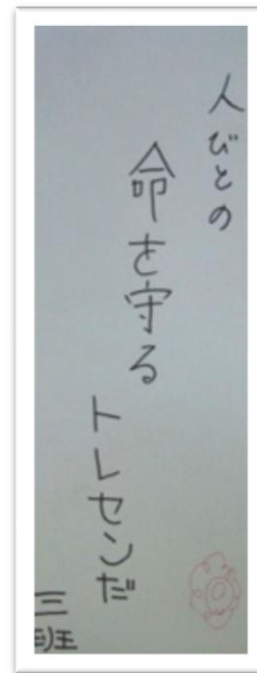
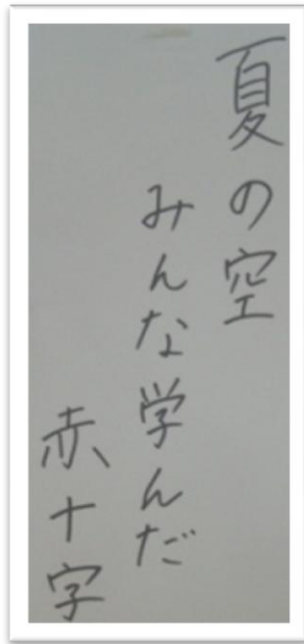
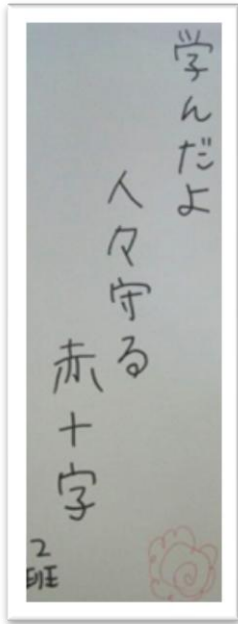
会場：弥彦総合文化センター(弥彦村)

◆今年の高中生対象トレーニング・センターのテーマは「命の大切さ」でした。災害活動体験談、救命処置、地元赤十字奉仕団との交流、世界の子どもたちに関する講話など、様々なプログラムを通じて、参加した生徒たちに命の大切さを伝えました。



番外編

■トレセン俳句コンテスト！？ 中越地区トレーニング・センター



暑い中、参加した子どもたち、準備をされた先生方、ボランティアのみなさん、大変ご苦労様でした。

下越地区の様子は次号でお伝えします！！

2. 愛宕中学校の生徒さんが大活躍！！

9月1日（防災の日）、五泉市で新潟県五泉市総合防災訓練がおこなわれました。この訓練は、自衛隊、警察、消防等、県内の防災機関が一堂に会して毎年実施するもので、日赤からも当支部、長岡赤十字病院、赤十字ボランティアが参加しています。

今年の訓練は、住民参加型により防災意識の啓発を図ることを目的のひとつとしており、地元愛宕中学校の生徒さんが青少年赤十字ワッペンを付けて訓練に参加しました。トレセンに引き続き、愛宕中学校の生徒さん、引率の先生方、暑い中、ご苦労様でした!!



3. 青少年赤十字指導講師が加盟校を訪問しています！！

日本赤十字社新潟県支部では、上・中・下・佐渡・新潟市地区それぞれに青少年赤十字指導講師を委嘱しています。同指導講師は、青少年赤十字加盟校に勤務していた元校長先生で、青少年赤十字活動に関する助言や指導にあたっています。年間を通して、県内加盟校を訪問し、各校における現状や課題についての相談を受け、青少年赤十字活動の活性化につなげておりますので、指導講師から各学校へ訪問の連絡が入りましたら、ご対応くださいますようお願いいたします。



4. 引き続き“たくさんのやさしさ”ありがとうございます！！



当支部から、新潟県内の青少年赤十字加盟校へお送りした「募金セット」。活動の輪は、県内に広がり、多くの学校から義援金や救援金をお送りいただきました。

この活動は、「赤十字＝募金」を植え付けるのではなく、子どもたちがテレビや新聞で見た被災地の様子に何かを感じ、考え、行動することが目的です。子どもたちのやさしさが、直接困っている人たちのために活かされる実践的な活動です。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

【ご協力いただいた学校 平成 20 年 8 月 31 日現在】

(1) ミャンマー・サイクロン災害救援金

新潟県立加茂農林高等学校、新潟青陵高等学校、新潟市立巻西中学校、南魚沼市立六日町中学校、新潟市立鏡淵小学校、津南町立芦ヶ崎小学校、津南町立上郷小学校、佐渡市立浦川小学校、佐渡市立小木小学校、小千谷市立千田小学校、北信越高等学校 PTA 連合会、柏崎市立大洲小学校、上越市立三和中学校、川口町立川口小学校、上越市立板倉中学校、村上市立さんぼく南小学校、青少年赤十字上越地区指導者協議会



(2) 中国大地震救援金

新潟県立加茂農林高等学校、新潟青陵高等学校、新発田中央高等学校、新潟市立巻西中学校、南魚沼市立六日町中学校、胎内市立中条中学校、佐渡市立二宮小学校、糸魚川市立市振小学校、長岡市立脇野町小学校、津南町立芦ヶ崎小学校、津南町立上郷小学校、佐渡市立浦川小学校、佐渡市立小木小学校、上越市立下黒川小学校、柏崎市立大洲小学校、上越市立三和中学校、新発田中央高等学校、川口町立川口小学校、上越市立板倉中学校、村上市立さんぼく南小学校、小千谷市立東小千谷小学校



(3) 平成 20 年岩手・宮城内陸地震義援金

新潟清心女子高等学校、新潟清心女子中学校、上越市立下黒川小学校、小千谷市立千田小学校、北信越高等学校 PTA 連合会、上越教育大学付属中学校、長岡市立栖吉小学校、川口町立川口小学校、佐渡市立真野中学校、小千谷市立東小千谷小学校

■ワンポイント「義援金と救援金！」

「義援金」は、国内で発生した大規模災害に対して皆様から寄せられるもので、義援金配分委員会(都道府県が主体に構成)でたてられた配分計画に基づいて、全額、被災者の方々へ届けられます。「救援金」は、海外での大規模災害や紛争等に際し、赤十字活動を行うための資金として皆様にご協力いただくものです。



何でもお気軽にお問い合わせください！！

<担当> 日本赤十字社新潟県支部 組織振興課 小原(おばら)

TEL 025-231-3121 FAX 025-231-3122

MAIL d-obara@niigata.jrc.or.jp